

## 第28回神奈川県合唱フェスティバル

# ユースクワイア・フェスティバル

いよいよ 開催迫る !!

## 県内実力派若手合唱団の共演

今年で28回目を迎える県内合唱界・冬の風物詩「神奈川県合唱フェスティバル」が、来る2月13日日曜日に開催される。

かつては神奈川県合唱作品作曲コンクールの入賞曲発表会に、県内から選りすぐりの合唱団がミニステージで華を添えるというスタイルであったが、県の財政悪化と共に作曲コンクールという文化政策予算はカットされ、フェスティバルへの補助金も大きく減額された。ここ数回は合唱を通しての社会貢献も県連が幾許かの支援を県から受けていることへの応えとしてフェスティバルの企画に反映させている。

そんな中で、久しぶりに合唱の醍醐味を客席でじっくりと味わってもらおうという企画になった。今回は、県内各地で少年少女合唱団や中・高の部活動を卒業した子ども達が、新たにそのOB・OGを中心にして立ち上げて活動している比較的若い世代の合唱団に集ってもらい、その素晴らしい歌声で新たな合唱の感動を届けてもらおうということになった。

出演合唱団の顔ぶれなどの詳細は文末に詳しく記すが、既に全国レベル、いや世界的レベルの活躍をしているグループもあり、県内のコンクールなどでメキメキ頭角をあらわしてきたグループ、結成間もなく、これからの活躍がきたされている合唱団、社会人として忙しい立場にしながら、趣味の時間を必死で作って活動を再開させた合唱団など様々だ。女声・男声・混声と声のジャンルも様々だが、いずれのグループも実力派の呼び声は高い。

県内でも有数の合唱団の共演が神奈川県への支援により無料のコンサートとし開催されるのは県の合唱人口の多さ、合唱に関わる人の志の現われとして特筆に値するであろう。

是非とも会場に足を運んで、合唱の饗宴に思い切り身を委ねて欲しい。

◇日時：2月13日(日) 14:00開演

◇会場：県立音楽堂 入場無料

◇出演団体 (出演順)

## 1. ユース「松林の風」

(茅ヶ崎市立松林中学校・萩園中学校)

## 2. Trinity & ミュゼリス

(茅ヶ崎少年少女合唱団・金沢少年少女合唱団)

3. コール・キリエ (神奈川県立生田高校 ほか)

#### 4. 男声合唱団 グリーンスリーブス

(神奈川県立緑ヶ丘高校 ほか)

5. 合唱団 たまとも（神奈川県立多摩高校）

## 6. ヴォーカル・アンサンブル・ヴィクトリア

(横浜雙葉学園聖歌隊)

## 7. マルベリー チェンバークワイア

(小田原少年少女合唱隊)

※（ ）内は母体となった合唱団です

◇お問い合わせ：県合唱連盟 045-681-6033

## 主要内容

案内  
報告  
・合唱フェスティバル / ・アンサンブルコンテスト / ・ジュニア合唱祭  
・ヴィサンジョイントコンサート / ・中高生のためのアンサンブルコンサート /  
・メサイア / ・全日本コンクール 他  
コラム  
・県内合唱連盟見聞録 ～藤沢市編～  
コンサートガイド  
巻末特集「世界合唱シンポジウム」

理事長年頭挨拶

あけまして

おめでとうございます。

神奈川県合唱連盟理事長 桑原妙子

津波、大雨と新年早々信じられない事態が発生し、地球全体がまともでなくなっています。自然を大切に、敬い、そして恐れずに謙虚に過ごしたい、と考えるのは私だけではないと思います。

そういう悲劇的な地球という星で、神奈川に住む私達は大好きな合唱を大好きな仲間達と歌っています。このシアワセに心から感謝したいと思います。

BSでベルリンフィル（サイモン・ラトル指揮）がギリシャの遺跡で演奏しているのを聞きました。ブラームス作曲、シェーンベルク編曲のピアノ四重奏曲第1番「管弦楽版」という、あまり演奏されない曲でした。ギリシャの遺跡のスケールの大きさ、そこで繰り広げられたであろう歴史の数々、そして現在演奏しているベルリンフィルの熱い演奏。どれをとっても人間の持つ力の素晴らしさを感じずにいられませんでした。

人間の五感の中で亡くなる直前まで残るのが聴覚と言われています。心を病んだ人の為に音楽は最良の薬とも言われます。いつも音楽と共に過ごせる私達は声を寄せ合い、心を通わせあい、伸びやかに、豊かに感性を広げたいものです。

今年も数々の素晴らしい神奈川サウンドが響きわたることを願っています。

.....

今年のアンコンはすごいぞ！

第7回

かながわヴォーカルアンサンブル  
コンテスト開催迫る！

神奈川県合唱連盟の創立40周年を記念してスタートした「かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト（通称「アン・コン」）」も、第7回を数えることになった。評価点を数値化しその合計点数を持って優劣を競うというイワユル絶対評価方式や、1次、2次の2段階選抜。シニア、ジュニア部門などの部門構成等々、後発の弱点を逆手に取った、全国にも類を見ないユニークなコンテストとして、徐々にではあるが確実に意義を増している。毎年、ふたを開けるまで参加団体数が分からないといった実行委員会泣かせの事業であるが今年はいつもと少し違う予感がある。

まずは、ここ数年参加団体すらなかったシニア部門に、久しぶりにエントリー団体があること。

（しかも2団体）近年ますます勢いを増すシニア部門の底力を見せてもらえそうで期待できる。応募数こそ爆発的ではなく安定してきている男声部門には、他県からの挑戦が目立つ。迎え撃つ県内組との真剣勝負？は大いに楽しみであり、毎回安定した成績を収めているジュニア部門のというよりも県内有数の団体、小田原少年少女合唱隊の牙城を脅かすことが出来るのかも楽しみになろう。

他にも実力伯仲であろう中に、職場の合唱団として9月のコンクールでは金賞常連の日立コールシステムプラザが出場する混声部門。エントリー数も最も多く、高いレベルでの凌ぎ合いが聞き物になる女声部門や先の小田原少年少女合唱隊に続けとばかり毎回2次審査でも高い評価を受けているジュニア部門等々見所聴き所はたくさんある。

早春の紅葉坂に静かに広がる音楽の火花を、是非応援しに来てください。

第7回

かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト

開催：3月13日 日曜日

午前10：30開演予定

会場：神奈川県立音楽堂

入場料：1,000円（高校生以下無料）

出場：30団体（1月9日現在）

男声部門：5団体

シニア部門：2団体

混声部門：8団体

女声部門：10団体

ジュニア部門：5団体

審査員：有村祐輔（当初予定の磯部先生から交代）

今井邦男、桑山博の各先生

.....

第27回

神奈川県ジュニア合唱祭

開催のお知らせ

来る4月2日土曜日13時から神奈川県立音楽堂において「第27回神奈川県ジュニア合唱祭」を開催いたします。

ジュニア部門を持ち、かつジュニアのみの合唱祭を開催している県連は全国的にも珍しく、神奈川県はかつて「全日本ジュニアコーラスフェスティバル」のプレ大会と言われた「少年少女合唱団大集合」を見事成功させ2002年にも全国大会を主管しました。ところが現在は、少子化問題の荒波をまともに受ける格好で、各団とも人数の減少や新規入団者の激減、それどころか団の存続も覚束無いというところもあり、この合唱祭の出演数も年々減少傾向にあります。

しかし、合唱の未来をになうであろうジュニア達の歌声は時代や世の中の様々を吹き飛ばしてくれるようなエネルギーを与えてくれます。今年も講師に合唱指揮者の岩本達明、松村努両氏を迎えて岩本氏の指揮で合同合唱ステージに臨むなど、

多彩なプログラムで会場を歌で満たしてくれることでしょう。

日頃まとまって聴く機会の少ないジュニアの歌声を思う存分に味わうととてもいい機会になると思います。さくらの花びらも舞う紅葉坂へどうぞ足をお運び下さい。

#### 第27回 神奈川県ジュニア合唱祭

日時：4月2日 土曜日 13時開演予定

会場：神奈川県立音楽堂

講師：岩本達明、松村努 (敬称略)



昨年のステージから

## ヴィサンジョイントコンサート

### 盛大に！ 無事に！ 開催！

去る11月11、12日の両日、横浜みなとみらい大ホールにおいて、第10回ヴィサンジョイントコンサートが開催された。

10回記念の節目を迎えた今年は平日ながら2日間開催として全国から70団体近い団体が参加し盛大なものになりました。

直前まで詳細な内容が事務局に伝ってこないまま、やや不安を残しての開催日でしたが、右に左にと舞台裏を飛び回る県連システム？のお陰か、案ずるより生むが易し(でもないですが。。。)とスムーズにコンサートは進みました。

1日目は途中横浜市長が会場を訪れ、ご挨拶をいただきました。横浜市の高齢者向けの施策についてひとしきり語り、会の盛況を称えての挨拶でしたが、合唱文化への一層の支援なんかも語って頂ければ更に盛り上がったのですが。

ハプニングと言えば、共演するシロフォン(木琴)が大きくて、ホールの演奏者入り口でつかえてしまい、舞台裏が大混乱になるということがありました。奏者の方は「この前は大丈夫だった」と仰るのですが、どうもその時のものより大きかったようです。あとで聞くと何百万円もする一番大きな部類のものだったようで、下手からはどうやっても入らずに、とうとう上手側の開ける予定ではなかったところを開けて、総勢6人の男が、えいこらさっと持ち上げて、ようやく演奏できました。事前の連絡が細かいところまで大事なのだと思い知らされました。

シニア部門の祭典と言うことで心配された大きな事故も起こらずに全ての日程を済ませることが出来たのは何よりでした。

1日目の夜には10周年を記念して、ささやかなパーティーも開き、和やかに交流の輪を広げていました。

節目の回を済ませて、一般社会ではますます人口の高齢化が進み、そうした人々の交流の場、癒しの場としての合唱が果たす役割も重要になっています。このフェスティバルが「晴れの」場としてますます重要になることでしょう。安全に、そして楽しく、晴れの舞台にふさわしいコンサートになるよう、県連としてもしっかりとやらなければと言う感想を持ちました。

(文責 鈴木章司=MMホールから)

#### 第39回

### 音楽堂メサイア演奏会 開催

受託事業である神奈川県立音楽堂主催の第39回クリスマス音楽会メサイア演奏会は、去る12月12日日曜日例年にも増しての盛大な拍手のうちに無事に終了いたしました。

#### 県連全体で取り組むメサイア合唱団

昭和41年(1961)以来、横浜では「第九」と並ぶ年の瀬のイベントとしてすっかり定着している神奈川県立音楽堂のクリスマス音楽会・メサイア演奏会は、当初から合唱を神奈川県合唱連盟が受け持っていたらしい。らしい、というのはこの当時の事情を知る人間が周辺にいないので確かなことが分からないということである。県連40周年誌を読み返すとある程度のことは分かるが、発足間もない神奈川県合唱連盟の規模やその組織形態から見ても当時の総力を挙げてこの演奏会に臨んだであろうことは想像できる。横浜で活動していた合唱団を中心にメンバーを集めているようだが、このメンバー集めには県連の要、前事務局長の故・高橋氏の力が大きかったのは言うまでも無かろう。人集めと言う最大の難事を数十年にわたりこなされてきたのは驚愕の一言であり、氏の人格・お人柄によるところ大であったろうと思う。そして、高橋氏の急逝によってメサイアと県連の関わりに変化がもたらされた。

それは、神奈川県立音楽堂に対しては、県連として請け負う受託事業である以上、より良い音楽を提供する責務があるということ。県連内部に対しては広く公平に合唱団に参加する機会を持ってもらうことと、メサイアという人類史上の名曲を最近富に歌う機会が少なくなっている特に若い世代に、ある意味伝承しなければならないという使命感をもつということだ。ここ数年は、以前から愛着を持ってこの演奏会に望んでいる人と、新鮮な気持ちでメサイアにチャレンジしようとする人との間のギャップが様々な面で軋轢を起こす危険をはらんでいくだろう。ただこれは、新しいあり方を模索していく上での必然であり、やがて全ては音楽のために昇華され以前にもまして素晴らしいメサイア演奏会へと脱皮してくれると信じているし、県連は理事長、担当理事以下そうなるべく努力している。

今年のクリスマスには昨年よりも更に良い音楽がホールを満たすように、昨年参加した人も、そして今年は参加してみたいと思っている人も、今から楽譜を胸に日々準備に怠りなきように。

## 第1回 中高生のための ヴォーカル・アンサンブルコンサート

開催報告

実行委員長 金子佳弘

- ・日時 : 12月27日(月)10時半開演
- ・会場 : 清泉女学院中学高等学校講堂

県連では6月の合唱祭を始め、9月の合唱コンクール等、多くの巨大大事業を展開しておりますがこのコンサートは、2声部以上ならば少なくとも各パート1名からの参加も可能なユニークな事業であります。中学、高校の合唱部と言えば、多くの方がコンクールの練習主体の地味な活動を想像されると思いますが、今日の学校合唱部は少子化の影響だけでなく、音楽専科の教員の不在、社会情勢の変化等、様々な要因により縮小化が進んでおります。本県におきましても合唱部が存在し、年間に互って活動する学校がたいへん少なくなってきました。今でも、コンクールはある程度出場実績がありますが、それらの大半は合唱部ではなく、音楽の選択授業の生徒による参加となっております。私も合唱人には、音楽を通じ、将来性のある若人を育てて行きたいという共通の願いがありますので、この状態は由々しき問題であると考えねばなりません。

少しでも多くの若人に合唱音楽の楽しみをわかってもらいたいという考えの下で、この事業は本年度で11回目を迎え、県連事業の中に根付いてきております。今回は13校延べ32チームの参加をもって開催に至りました。開催にあたり参加各校の顧問の先生方におかれては相当なご苦労があったに違いありません。まず何よりも生徒を参加させることに相当なエネルギーを費やしているものと思います。しかし、参加することで、より多くの合唱仲間に出会えることの素晴らしさを体験し、一年の総決算をこのコンサートで迎える学校も少なくはありません。今回は例年以上お互いの演奏を聴く態度が素晴らしく、またメッセージカードと題した講評カードを各校に割り当てたことで、より親密度が高まったように思います。各校の演奏も工夫を凝らし、このコンサートに向けての意気込みを強く感じることができました。

是非、一般の方々にも足を運んでいただき、中高生のパフォーマンスを楽しんでいただけたらと思います。

最後に、会場を提供していただいた清泉女学院中学高等学校の顧問の先生、生徒の方々にはコンサートプログラムの作成を始め、当日の運営に至るまで目細かな対応をしていただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。

## 県勢大活躍!!

## 全日本合唱コンクールで 2団体金賞受賞!!

昨年11月に愛媛県松山市の愛媛県民文化会館を会場に開催された「第57回全日本合唱コンクール全国大会」(20日土曜日に一般の部Aと大

学部門、21日曜日に職場部門と一般の部Bが行なわれた。)に於いて、神奈川県大会、関東大会を勝ち抜いて出場した2団体が見事に金賞に輝いた。県勢の全国大会での複数部門金賞受賞は、99年の3部門金賞受賞以来。

一般の部Aグループで出場したマルベリー・チェンバークワイアは98、00、02年に続いて4度目の金賞受賞。2年ごとに全国大会に駒を進め、出場すれば必ず金賞というのは驚きである。今回金賞と同時に愛媛県知事賞と来年度のシード権を獲得した。県大会、関東大会はシード通過できると言うことだが2年ごとのジグザグがどうなるのか、まったく他人事ながら気になるところ。

鎌倉女子大学合唱団も関東大会の常連校で、全国大会へも幾度も進出し金賞も度々受けている。今回は金賞のほかに、「カワイ奨励賞」も獲得。こちらも今年の県大会はシード通過になる。最近では参加団体が非常に少ない大学部門だが、他大学が関東大会へ駒を進めるチャンスが広がったといえよう。

両団体とも、県内に数多ある合唱団の(あくまで距離的にという意味で)、身近な目標として、これからも輝き続けて欲しいものであり、更に素晴らしい音楽を聞かせていただきたい。そして今年のコンクールに於いても、朗報をもたらしてくれることを願ってやまない。

なお、本年のコンクール神奈川県大会は、9月3日土曜日に中・高・大学部門、11日日曜日に職場、一般部門がそれぞれ開催されることになっている。

## 県連顧問 吉田孝古麿 先生 横浜市文化賞受賞

玉置宏氏(同会者・野毛にぎわい座館長)「ゆず」(2人組歌手=奨励賞)などと共に

神奈川県合唱連盟顧問で合唱指揮者の吉田孝古麿氏(70歳)が、昨年10月に横浜市文化賞を受賞した。県連の正副理事長を歴任されたのをはじめ地元横浜はもとより神奈川県の合唱界にあって絶えずその中核をになってきた「マロ先生」の受賞は、永年辛苦を共にし、喜びを分かち合ってきた多くの友人たちにとってもひとしおの喜びであったに違いない。

暮れも押し詰まった12月19日日曜日に受賞をお祝いするパーティーが友人たちの手により開かれたが、会場はお祝いに駆けつけた大勢の友人たちでいっぱいになっていた。

もちろん県連からも、田中副理事長(理事長は生憎本番が重なり欠席)をはじめ十数名の理事が招かれて祝宴を共にした。

来賓として挨拶に立った横浜市文化財団の斉藤龍理事長は「文化賞と言うのは守備範囲が広くてなかなか音楽に、まして合唱部門には回ってこないもの。今回の賞は合唱に関わる人すべてへのご褒美のような気がする」と語り、わがことのように喜ばれていたのが印象的であった。またテレビ

番組制作会社の加地社長は、自ら製作するドラマ「水戸黄門」の「印籠」をプレゼント。「番組で使う本物と同じレプリカです」と言われたマロ先生が早速「控え、ひかええ〜」と声を張り上げると会場は一段と盛り上がった。

ピアノ演奏あり、コーラスあり。マロ先生を囲んでの楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後は主賓であるはずのマロ先生が自らタクトを取り自作の曲を指揮。会場の全員でも合唱して幕を閉じた。

「今までは後ろは振り返らないように、前へ前へと思いながらやってきた。これからは後ろを向いて前に向かって歩いていくことにしようと思う。」と新たな決意を語ったマロ先生。指揮者生活50年の記念イベントを終えたばかりだが、まだ10年20年と活躍して60周年70周年記念イベントを自ら企画している姿を想像していたのは筆者だけではないであろう。これからも、合唱に変わぬ愛を。横浜の、神奈川の合唱を導いて欲しいものだ。我がマロ先生、おめでとうございます！

## 新年早々理事会始動

今年第1回目の理事会が1月9日(日)に開かれ早々と始動しました。

今年は全国規模の大きな主管事業が無く比較的穏やかに？県連の運営が出来そうです。よりよい県連運営のために理事一同精一杯がんばってまいりますのでよろしくお願いします。



## 県内合唱活動見聞紀

藤沢市地区

### 藤沢市合唱連盟の活動と今後

藤沢市合唱連盟 理事長 門井淑治

藤沢市合唱連盟は1980年に、藤沢市教育委員会の協力を頂き発足いたしました。現在も教育委員会の恩恵を受けつつ、藤沢市の施設の活用便宜を図っていただいています。現在の加盟団体は54団体で、内9団体がジュニア団体です。活動としては、毎年一度の「ふじさわ合唱祭」の他、藤沢市の後援を受けつつ事業を行っています。

昨年の事業では、藤沢市芸術文化振興財団に主催して頂き、現田茂夫指揮、神奈川フィルでジュニアと男声による混声でのフォーレ「レクイエム」を成功させました。合唱連盟独自の主催としては、「夏休み、ジュニアのための合唱教室」と関屋晋先生にお願いして「指導者層のための合唱講習会」を開催しました。また、藤沢市民交響楽団との共催により、現田茂夫指揮によりマーラー交響曲第二番「復活」を演奏しています。

藤沢市の特徴は、藤沢市民オペラを代表として、藤沢市の大きなバックアップのおかげで、多種多様な合唱団と大編成を誇る市民の交響楽団が育ってきたことだと思います。

私は田中英子前理事長から理事長を引き継いで3年目となりますが、前理事長の時から心掛けてきたことはジュニアの育成でした。高齢の方達の団体が増え、初心者の方も楽しく合唱をされる姿もほほえましく、ずっと支えていかなければと思う一方で、合唱の楽しさを知らない子供たちが増え、ジュニア団体が減少してきたことも事実です。

これには合唱を指導できる先生の減少、塾主体の教育環境の変化など色々原因はあるのでしょうが、カラオケ文化というか、一人で気ままに歌える環境も要因かもしれません。

私が理事長になった時、皆さんに申し上げた

のは、10年後、私たちの合唱団はどうなっているでしょう？今のうちに子供たちに大勢で歌う合唱の楽しさを教えるのが、私達大人の努めではないでしょうかということです。そのためには、子供達にステージの機会を与え続ける必要があります。そして、冒頭に挙げた、ジュニアと男声の混声によるフォーレや、夏休みの一日に歌のお姉さんだった江原陽子さんに講師になっていただき、ジュニアのための合唱教室を開催したり、市民オペラの機会にはジュニアへの声掛けをしたりしてきました。個人的にも私の所属している湘南市民コールの定期演奏会にジュニア団体呼んで共演したりしてきました。神奈川県合唱連盟においても、合唱フェスティバルで、三世代交流などで機会を与えてくださり感謝しています。

今まで、藤沢でも毎年数団体ずつ加盟団体が増えてきましたが、今後はジュニアだけでなく企業のリストラにより、社会人の一人当たりの仕事量も増え、社会人の団体も減少してくるのだと思います。その時には、私達合唱団の活動も変わっていかねばならないでしょう。今団員が増えている団体は、今まで楽しさだけを求めてきたところから、先生にお願いしつつ、優秀な指揮者やボイストレーナーを他からも呼び、知らなかった名曲に触れ、良い演奏をすることを心掛けはじめたところだと思います。「歌っていることが楽しい」から、合唱団としての目的を持ち、「名曲との出会えた感動、苦労したけど良い演奏ができた喜び」を知ることが大事なのかも知れません。

今年は、5年に2回開催される「藤沢市民オペラ年」です。3月に開催されるオペラコンクールを経て、新人のオペラ歌手の発掘をしつつ11月のオペラ出演の機会が与えられます。これに、藤沢の合唱団も多数参加し、また一つの歴史が作られますが、これら新人オペラ歌手を支えるのも藤沢の合唱連盟の特徴だと思っています。

私達は、こういう環境を与えて下さる藤沢市に感謝しつつ、これからも独自の活動を続けていきます。

神奈川県合唱連盟加盟団体

# コンサートガイド

2005年 1月～



☆ 1月 1日までに編集室へ  
お届けのあった分につい  
て掲載しました。

☆ 次回締め切りは3月 1日。  
発行は4月 20日の予定で  
す。

|                |                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------|-------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>2<br/>月</p> | <p>19日<br/>(土)<br/>開演<br/>14 00</p> | <p><b>日立コール・システムプラザ 第8回定期演奏会</b><br/>                 ◇無伴奏混声合唱のための「7つの子ども歌 より 信長貴富編曲<br/>                 ◇「LAUDATE」VEN」 Nysted作曲<br/>                 ◇「世界に一つだけの花」さくら」ほか 辻志朗編曲<br/>                 ◇アルゼンチン ポピュラー音楽集から<br/>                 指揮 辻志朗<br/>                 特別出演 寺澤むつみ<br/>                 会場 横浜みなとみらいホール 小ホール<br/>                 お問い合わせ 高木靖さん 090-9974-5492<br/>                 入場料：1,000円</p>                                                                                                                                 |
| <p>3<br/>月</p> | <p>5日<br/>(土)<br/>開演<br/>14 00</p>  | <p><b>鎌倉湖畔コーラス "2005"コンサート</b><br/>                 ◇「虫の絵本」 まどみちお作詩／吉岡弘行作曲<br/>                 ◇「七つの子どもの歌」 信長貴富編曲<br/>                 ◇「この世でいちばんやさしい歌」 新川和江作詩／大田桜子作曲<br/>                 ◇「みすずこのみち」 金子みすず作詩／鈴木憲夫作曲<br/>                 指揮 浅野深雪<br/>                 ピアノ 吉田さつき<br/>                 会場 鎌倉芸術館大ホール<br/>                 お問い合わせ 本坂美奈子さん 0467-44-9458<br/>                 入場無料</p>                                                                                                                                               |
|                | <p>2日<br/>月・祝<br/>開演<br/>14 00</p>  | <p><b>合唱団のぞみ 2000系 第1回演奏会～ホリヤン教室の同窓会～</b><br/>                 ◇「四季 から 矢地創造 から ハイドン作曲<br/>                 ◇「レクイエム から モーツァルト作曲<br/>                 ◇「ドイツレクイエム から ブラームス作曲<br/>                 ◇「メサイア から ヘンデル作曲<br/>                 ◇「日本抒情歌曲集 から 林光編曲<br/>                 指揮 堀俊輔<br/>                 ピアノ 小林万里子<br/>                 会場 横須賀市文化会館大ホール<br/>                 お問い合わせ 小島さん 046-866-2240<br/>                 入場料：1,500円 (全席自由)</p>                                                                                                  |
|                | <p>25日<br/>(金)<br/>開演<br/>17 30</p> | <p><b>第3回松林の風コンサート～ワンコイン・チャリティ・コンサート～</b><br/>                 ◇女声合唱組曲 会いたくてから「いのち」蟻の夏」<br/>                 ◇「ディズニー&amp;ミュージカル・コレクション から「オクラホマ」「ライオンキング」<br/>                 ◇混声合唱組曲 風の夏 から「送り火」<br/>                 ◇「戻そうそう」世界に一つだけの花」川の流れのように」八木節」花嫁人形」ほか<br/>                 指揮 大森知恵子 ピアノ 澤田恵生、池田早華子、稲毛理沙、谷田明日香、西崎希<br/>                 演奏 茅ヶ崎市立松林中学校合唱部、ハーモニック松林、茅ヶ崎市立萩園・松林・西<br/>                 浜中学校OB<br/>                 会場 茅ヶ崎市民文化会館大ホール<br/>                 お問い合わせ 松林中学校合唱部 大森知恵子さん 0467-52-5147<br/>                 入場無料</p> |

|                |                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>3<br/>月</p> | <p>26日<br/>(土)<br/>開演<br/>17:30</p> | <p><b>大船高校合唱部 第16回定期演奏会</b><br/>                 ◇アジアの民謡、日本のわらべうた<br/>                 ◇ア・カペラ ルネサンス～現代ハンガリー<br/>                 ◇オペレッタ 「ヘンゼルとグレーテル」<br/>                 ◇マートルの風景、狩俣ぬくいちゃ<br/>                 指揮 鈴木夏美<br/>                 演奏 大船高校合唱部、OB・OG合唱団「コール・ルーエ」<br/>                 会場 鎌倉生涯学習センター<br/>                 お問い合わせ 県立大船高校 鈴木夏美さん 0467-47-1811</p> <p style="text-align: right;">入場無料</p>                                                                                  |
| <p>4<br/>月</p> | <p>10日<br/>(日)<br/>開演<br/>14:00</p> | <p><b>女声合唱団クール・クロア 46周年定期演奏会</b><br/>                 ◇三声のミサ曲 Aカブレ作曲<br/>                 ◇寺山修司の詩による6つのうた 思い出すために」 信長貴富作曲<br/>                 ◇「ワンダフル・ステージ から 「ジュ・トゥ・ヴー」 Eサティ作曲／青島広志編曲<br/>                 ◇女声合唱とピアノのための 「大地の貌」 谷川俊太郎作詩／寺嶋陸也作曲<br/>                 指揮 箕輪健<br/>                 ピアノ 河本充代<br/>                 会場 藤沢市民会館大ホール<br/>                 お問い合わせ 高橋栄子さん 0466-87-1681</p> <p style="text-align: right;">入場料：1,000円</p>                                                  |
|                | <p>23日<br/>(土)<br/>開演<br/>14:00</p> | <p><b>横浜木曜会 第39回定期演奏会</b><br/>                 ◇混声合唱組曲 「筑後川」 丸山豊作詞／團伊玖磨作曲<br/>                 ◇「グロリア ミサ」 プッチーニ作曲<br/>                 指揮 松崎陽治<br/>                 ピアノ 増本博子、海津幸子<br/>                 テノール 湯川晃 バリトン 中西勝之<br/>                 賛助出演 青木少年少女合唱団 指揮 松崎由里子<br/>                 会場 県立音楽堂<br/>                 お問い合わせ 高橋勝さん 045-491-0570</p> <p style="text-align: right;">入場料 1,500円 (全席自由)</p>                                                                                     |
|                | <p>30日<br/>(土)<br/>開演<br/>18:00</p> | <p><b>クール・ヴァン・ヴェール ～創立30年を迎えて～ 第13回コンサート爽</b><br/>                 ◇ア・カペラの響き<br/>                 吉田孝古磨編曲による「三つの海のうた」チュールリップといっしょに」<br/>                 ◇Missa "Salve Regina" Hans Bauernfeind作曲<br/>                 ◇「古都幻想」岩河三郎作曲<br/>                 ◇合唱組曲 「くるみ割り人形」チャイコフスキーのバレ音楽から 吉田孝古磨編曲<br/>                 指揮 吉田孝古磨<br/>                 ピアノ 宮玲子、岩谷尚幸<br/>                 会場 県立音楽堂<br/>                 お問い合わせ 皆川澄子さん 045-811-8925</p> <p style="text-align: right;">入場料：1,500円</p> |

### お悔やみ

カノンの先代編集長としてご活躍され、永年に渡り県連理事として共に県連運営に携わって来られた山口隆弘さんが昨年暮の23日にご逝去されました。

昨年1月ご病気で急遽入院されて理事を退任。カノンの編集も我々に託していかれた思いはいかばかりかと思ひます。

これからも精一杯、県連とカノンをがんばりますから安らかに眠り下さい。

お伝えする予定の岐阜県の金山中学訪問記は紙面の都合で次号に掲載することになりました。修学旅行先にみなとみらいホールを選び、そこで卒業記念の合唱をしてCD化しようと言う発想の源を探る旅でした。

お楽しみに。



# 巻末特集 第7回世界合唱シンポジウム京都大会へのお誘い・6

開催まで数ヶ月になったシンポジウムです。いよいよ今年の夏ですよ。参加登録はお済みですね？  
今号もシンポジウムの期間中に来日する海外の合唱団について、公式ホームページの力をお借りしてご案内いたします。参加登録をしていない方！すぐにご登録を！！

## オルフェオン室内合唱団 (トルコ)

国内外のフェスティバルやコンテストに参加したことのあつたアマチュアの合唱人たちにより1994年に設立された。合唱団の目的は、世界各地の様々な時代、地域の合唱音楽の中から優れた作品を演奏すると同時にトルコの聴衆にポリフォニー合唱音楽を広めることにある。多言語にわたるレパートリーは、中世、ルネサンス、古典、ロマン派および現代の作品と、トルコ人作曲家の作品から構成されている。国内のコンサートで多数の賞を受賞しているばかりでなく、98年6月ハンガリーで開催された第18回バルトーク国際合唱コンテストでは、ハンガリー作品の正統的な演奏に対しハンガリー文化大臣から特別賞を授与された。  
7月28日(木)アフタヌーンコンサートに出演

## ビクトリア合唱団 (グアテマラ)

現在の指揮者であるフリオ・セザール・サントス・カンボスが、音楽学校のヘスス・マリア・アルバラード校で、1984年3月7日に結成した合唱団である。団員は同校学生のほかは国立音楽院の学生から構成されている。合唱団の基本的な目的は、合唱音楽を通してグアテマラの子供たちを教育する点にあり、「合唱でつなげ小学教育」という名のコンテスト運動を推進している。その一環として合唱団員、指揮者双方を対象に研修会を実施、例えば、ある研修会では譜面の読み方を、また別の研修会では合唱指揮法を扱うといった具合だ。合唱団がいわば合唱音楽学校とも言える。これまで10回の海外公演を行なっている。  
8月1日(月)アフタヌーンコンサートに出演

## ヴォカールアンサンブル・アニマ (ロシア)

カウンターテナー、テナー×2、バリトン、バス×2の6名の男声アンサンブル。メンバーは全員がサンクトペテルブルク音楽院の卒業生だ。芸術面における同アンサンブルのモットーは、可能な限り広範なレパートリーを取り込むこと。本来は混声合唱のために作られた作品も彼らオリジナルの編曲の魔術により、まったく新しい響きを獲得する。優秀なカウンターテナーの存在ゆえ、彼らがカバーする声域は、実際に混声合唱の音域にきわめて近い。リーダーのヴィクトル・スミルノフは、88年にグリンカ合唱学校を卒業、88年から95年までサンクトペテルブルク音楽院で指揮法を学んだ。数年間の合唱歌手としての活動ののち、在学中の92年に「アニマ」を創設した。  
8月2日(木)イブニングコンサートに出演

## オスロ室内合唱団 (ノルウェー)

1984年、ノルウェー国立音楽アカデミー助教授も務める女性合唱指揮者グレーテ・ペデルセンにより結成された。約35人のメンバーは、プロの音楽家および豊富な合唱経験を有するアマチュアから構成され、レパートリーにはグレゴリオ聖歌、古典派、北欧の現代音楽、ノルウェーの民族音楽、ジャズなども含まれているが、この合唱団を特に有名にしたのは、民族音楽の画期的な演奏によってである。通常単一の声で歌われる「kveding」と呼ばれるノルウェーの伝統的な歌唱法を合唱の形式に取り入れ、高い水準の革新的な演奏を即興でやってのけたのである。国際的な演奏活動やCD録音も数多くこなす、ノルウェーのトップクラスの合唱団のひとつである。  
7月28日(木)アフタヌーンコンサートに出演

## ニューヨーク市ヤング・ピープルズ・コーラス (アメリカ)

ニューヨーク92丁目に本拠を置く児童合唱団で1988年に創設。ニューヨーク市内外で毎年40以上のコンサートオペラ、ワークショップに出演している。カーネギーホールやホワイトハウスをはじめカナダ、ヨーロッパ各地でも演奏を行ない、国際的にも評価されている。2003年から、最も優れたメンバーはニューヨークのラジオ局WNYCで専属児童合唱団として活動している。創設指揮者のフランシスコ・J・ヌネイスは作曲家でもあり、最近、Boosey & Hawkes社の新シリーズ「Transient Glory」の編者となった。このシリーズは同合唱団の初演作品を含み、現在最も傑出した作曲家によって書かれた児童合唱曲を集めたものである。  
7月30日(土)アフタヌーンコンサートに出演

## ノルディック・ヴォイセズ (ノルウェー)

1996年にデビューした6人編成のア・カペラ・アンサンブル。その幅広いレパートリーには、中世の音楽からルネサンス作品、リゲティやベリオなどの現代音楽に至るまで多様な作曲家の作品が含まれる。99年にスペインのトロサ国際合唱コンクールのアンサンブル部門において世俗曲と宗教曲の2ジャンルで第1位を獲得するなど、演奏面の充実とともに着実に活動の場を広げ、02年に初CD「Sense and nonSense」(米国JDRレーベル)、03年にはスペインとフランドルの16世紀作品を集めた「カール5世の時代」を発表。世界各地から演奏旅行のオファーが殺到している注目株だ。  
7月30日(土)イブニングコンサートに出演

「世界合唱シンポジウムのための10円募金について」 この世界合唱の祭典を成功させるために、「10円募金」という形で皆様にご協力をお願いする次第です。どうぞご理解のほどお願い申し上げます。  
(社)全日本合唱連盟理事長 吉村信良

## 編集後記

年末から年明け、春に向けて本番のステージが続きます。こんなに歌っていていいのだろうかと思惑？になることもあります。折角のチャンス！と思ってチャレンジしています。色々な様式の曲、多彩な指揮者、毎回違う会場と勉強になることばかりです。でも、殆どの場所で誰かしら見知った顔と出会うことも。。。みんな合唱が好きなんですネ。。。世界シンポジウムまでのカウントダウンが進みます。今年も合唱連盟とカノンをよろしく！！

## 神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon (カノン)」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会

神奈川県合唱連盟・事務局

発行責任者 桑原妙子

〒231-0021

横浜市中区日本大通15 朝日会館ビル4F

045-681-6033 (FAXとも)

ホームページURL: <http://homepage2.nifty.com/kanagawakenren/>

Eメールアドレス: [kanagawakenren@nifty.com](mailto:kanagawakenren@nifty.com)

Japan  
Choral  
Association  
KANAGAWA